



Microscopy 編集委員会からのお願い

Microscopy 編集委員長 藤吉 好則

2016年6月に発表された、Microscopyの最新のImpact Factor (IF) 値は 1.285 です。顕微鏡分野における上位3誌のIF値は、以下の通りです。

1. Ultramicroscopy : 2.874
2. Histochemistry and Cell Biology : 2.780
3. Journal of Microscopy : 2.136

■ Microscopy への積極的な「投稿」をお願いします

日本人研究者による優れた論文が、Microscopyではなく、わずかなIF値の違いゆえにUltramicroscopy等の競合誌へ投稿されてしまう状況を改善したいと思います。

学会員の皆様には、是非Microscopyへの論文投稿を積極的に行っていただきたく、よろしくごお願い申し上げます。現在、Microscopy誌では、論文投稿から最初の判定までに要する平均日数は「21」であり（2016年の実績）、査読・評価が迅速に行われています。また、Microscopyでは毎号1編の割合で、優れた内容の論文をEditor's choiceに選定し、当該論文をfree-accessとしております。free-accessの論文は、Microscopyを購読していない研究機関・研究者であっても自由にダウンロードすることができ、優れた研究成果が閲覧される機会を大いに促します。

Editor's choiceに選定された論文は、下記のURL（Microscopyのホームページ内）で紹介されています。

<http://jmicro.oxfordjournals.org/content/by/tag/choice>

是非、自信作をMicroscopyへご投稿下さい！

■ Microscopy 論文の積極的な「引用」をお願いします

IF値は、著者が投稿する雑誌を決めるうえで重要な指標となります。Microscopyから優れたオリジナル論文が発表され、顕微鏡分野での国際的なプレゼンスを一層高めるためにも、編集委員会ではIF値の継続的な向上を重視しています。

国外の顕微鏡学会でも、関連する国際誌に掲載された論文の積極的な引用を会員に呼びかけ、IF値の着実な向上を導いた事例があります。日本顕微鏡学会員の皆様におかれましては、Microscopyへ投稿する際にはもちろんのこと、他誌へ論文投稿される場合も、Microscopyに掲載された論文の積極的・意識的な引用にご協力下さい。

オリジナル論文の投稿に際してのお願い

近年、多くの学術誌で出版倫理に関わる高いモラルが求められています。Microscopyへのオリジナル論文の投稿に際しても、重複出版をはじめとするミスコンダクトには十分な注意を払っていただきますよう、皆様のご協力をお願いします。例えば、過去の国際会議のプロシーディングスで発表した内容を基に、新たな論文を執筆・投稿する際にも、場合によっては重複と見なされる可能性があります。ご判断に迷う場合には、投稿時に関係する論文をカバーレターに記すなど、Editorへのご連絡をお願い致します。